

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 豊橋市立高根小学校 (※正式名称を記載)
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}
☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他（例：小中高一貫）
所在地 〒441-3202
E-mail takane-e@toyohashi.ed.jp
Website _____
幼児児童生徒数 男子 130 名 女子 113 名 合計 243 名
幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「ふるさと大好き、高根っ子」を学校理念として、E S D の実践を通して、地域のよさを知り、地域とともに生きる力の育成を目標とした。

具体的には、生物多様性、環境、防災を柱に、①西七根海岸で産卵するアカウミガメに関する学習、②西七根海岸にかかわる活動、③防災にかかわる学習、④地域の方とかかわる活動を行った。

① 西七根海岸で産卵するアカウミガメに関する学習

- ・4 年生総合的な学習「アカウミガメ守り隊」

出前授業や専門家を講師に招き、アカウミガメの産卵環境を保全していくための学習を行った。「地引き網の会」の際に、グループごとに、アカウミガメについての調べ学習の発表を行い、全校児童や保護者に表浜の環境保全を呼びかけた。

② 西七根海岸にかかわる活動

- ・地域の方の協力による「地引き網の会」
- ・全校児童、P T A とともに「西七根海岸のクリーン作戦」

高根小学校では、毎年10月に、校区にある表浜海岸で「地引き網の会」を行っている。この会は、地域の方の協力により十年以上続く本校の恒例行事である。海岸に着き、「地引網」の詩を全員で群読した後、子どもたちは、アカウミガメの学習をしている4年生の発表を聞き、その後、地引き網を行いました。今年は、コノシロ、サバなどの魚が大量にかかりました。その後、アカウミガメの産卵地である表浜や魚のたくさんいる海をみんなできれいにしようと、参加した保護者と一緒に530（ごみゼロ）活動を行った。「地引き網の会」を通して、子どもたちは、表浜の海のすばらしさを実感し、ふるさと高根を大切にする気持ちを育てている。

③ 防災にかかわる学習や活動

- ・6年総合的な学習「災害について学ぼう」

教育委員会による出前講座「火災について学び、体験しよう!」、「災害について考えよう」等で、専門家の話を聞き、災害についての知識を知った。その後、高根校区での避難の仕方等についてさまざまな調べ学習を行い、縦割り班で、他学年に災害についての発表をした。

- ・西七根海岸からスタートする津波発生時の避難訓練

海岸からの避難訓練活動は、平成24年に始まり、保護者にも参加を募り、子どもたちと一緒にたくさんの保護者も海岸からの避難を体験してきた。本年度も保護者とともに、全校児童が避難訓練活動を行った。海岸では、6年生の総合的な学習「災害について学ぼう」の発表も同時に行った。子どもたちは、自分の命は自分で守る意識を年々高めている。

④ 地域の方とかかわる活動

- ・感謝の会

学校で行われている教育活動に協力や支援をいただいている地域の方々や保護者に対して感謝の気持ちを表す会を行った。感謝の手紙を全校で書き、手作りのプレゼントを渡した。

- ・地域のキャベツ農家の見学（3年）
- ・5年総合的な学習「高根ブランド米を作ろう」



① アカウミガメ守り隊



② 地域の方との地引き網の会



③ 海岸からの避難訓練



④ 感謝の会

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

0

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 学校行事)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

「安全教育の手引き・活動事例集」豊橋市教育委員会
「まもるいのちひろめるぼうさい」日本赤十字社
「アカウミガメ保護啓発リーフレット」豊橋市環境部

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の時間のなかで、4年生に「アカウミガメに関する学習」、6年生に「防災に関する学習」を位置付けている。その中で、市の出前授業等を行い、専門家から最新の話を聞いたり、調べ学習を行ったりしている。それをもとに子どもたちが自分たちにできること、自分たちの校区に災害が起こったらなどの課題を見つけ、それらを考える学習を行っている。また、各教科や学校行事、特別活動をかかわらせながら、教科横断的な指導を行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

教育課程に学習内容や活動内容を位置づけるとともに、年間行事予定表に、行事等を明記している。学校運営機構のなかに、ESD 担当を位置づけている。また、学校行事としての取り組みは、PTAや地域の方々とともに計画、運営ができるようになっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

- ・児童のさまざまな活動への成果を、事後のまとめや感想などから把握する。
- ・学習や活動のまとめとしての授業公開や行事（運動会、学芸会、収穫祭）などでの成果の発表から、関心・意欲・態度などを観察し評価する。
- ・学校評議員を通じた地域からの評価や、行事・保護者会後のアンケート調査、年間1回の全保護者を対象としたアンケート調査を行う。
- ・次年度に向け、今年度の取り組みの反省をもとに、行事の在り方について検討し、改良していく。

⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

- ・学級、学校だよりとホームページによる地域への発信
 - ・行事、授業参観等での、児童による発表
 - ・ユネスコスクール豊橋大会へのポスター展示
- 地域の方々や保護者に ESD 活動や児童の学習の発表を行うことで、多くの人に、高根小学校の取り組みを知らせることができた。

⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

豊橋市教育委員会による「まちづくり出前講座」の「災害について考えよう」「火災について学び体験しよう」「アカウミガメと表浜海岸の自然を守ろう」等を総合的な学習の時間のなかに位置づけ学習を深めている。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクール豊橋大会において、ESD 活動に関するポスターの展示を行った。栄小学校と老津小学校で行われた公開授業に教員が参加した。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

校区にある表浜海岸で産卵するアカウミガメの環境保護活動や地域の方の協力のもとで行われる「地引き網の会」等で、地域の方々とのつながりを大切にしてきた。また、高根校区の人々が営んでいる産業や地域の風土や文化を地域の方々から学び知ること、自分たちの住んでいる高根に愛着をもち、守っていく意識を高めてきた。地域・保護者の方と一緒に活動することで、子どもの様子を知っていただくとともに、学校との協力関係を強化することができた。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

- 西七根海岸で産卵するアカウミガメに関する学習
 - ・ 4 年生総合的な学習「アカウミガメを守れ、大作戦」
- 西七根海岸にかかわる活動
 - ・ 地域の方の協力による「地引き網の会」
 - ・ 全校児童、PTA とともに行う「西七根海岸のクリーン作戦」
- 防災にかかわる学習や活動
 - ・ 6 年総合的な学習「災害について学ぼう」
 - ・ 西七根海岸からスタートする津波発生時の避難訓練
- 地域の方とかかわる活動
 - ・ 感謝の会
 - ・ 地域のキャベツ農家の見学（3 年）
 - ・ 地域の方の協力による米作り（5 年）